「第一線で働く」公務労働者の賃金・労働条件の改善が重要

2008年 人勧期闘争
7・14 人事院近畿事務局包囲行動

植田保二・大阪労連議長もかけつけ、賃金の改善を訴えました

2008年人事院勧告を前にした、暑いさなかの夏季闘争。7月14日には「7・14人事院近畿事務局包囲行動」が、大阪市北区の中之島合同庁舎前でおこなわれました。

集会では、大阪労連の植田保二議長があいさつにたち「大阪府の橋下知事は維新PT案で、300人の学校現場に働く非正規職員をクビをきろうとしている。非常勤職員の労働条件改善で、ワーキングプアをなくすとりくみを」と訴えました。近畿各地の公務共闘の代表が、マイクを握り、「職場で臨時職員の組合ができた。正規職員の組合も非正規の労働条件改善にとりくんでいる」（京都）、「府民を苦しめる橋下改革の正体が見えてきた。まやかしの財政危機論がはっきりしてきた」（大阪）、「兵庫でも各地で非正規の人たちの組合ができている」（兵庫）など、状況と決意を語りました。

「生活できる賃上げを行なえ」「最低賃金を1000円以上にあげろ」「生活保護水準の標準生計費を見直せ」など、みんなが一致できる要求のシュプレヒコールを唱和しました。

すでに6月23日に、近畿公務共闘として、人事院近畿事務局に対して「2008年重点要求書」を提出しています。この回答をもとめて、総勢30人を超える交渉団が入り、当局の姿勢をただしました。

第一線で働く公務労働者の賃金・労働条件の改善が、正規職員、非正規職員を問わず重要となっています。

近畿公務共闘は、働きがいのある職場をめざして、とりくみをすすめています。

2008年国民平和大行進 ⟶ 猛暑の大阪府内をいく

「核兵器廃絶を」「ノーモア・ヒロシマ、ノーモア・ナガサキ、ノーモア・ヒバクシャ」「核兵器のない世界をもとめて一歩でも、二歩でも歩きましょう」とすべての国民に訴えながら全国を行進する「2008年国民平和大行進」が今年も大阪府内をくまなく歩き通しました。

とくに今年は1958年6月の第1回行進から50周年の節目となるもので、半世紀にわたって続けられている国民的行動としてひときわ強く高く国民に呼びかけられてきました。

6月30日に奈良県から柏原市で引き継いだ行進は、8日間にわたって府内を行進し、7月7日に池田市から兵庫県の川西市に引き継ぎました。梅雨の時期とはいえ、ほとんどが真夏日の猛暑のなかの行進となりましたが、大阪自治労連も連日、各コースで各単組の組合員が参加し、また、冷たいお茶などの飲み物サービスなどで行進者をサポートするなど、しっかりと行進をささえ、旗をつなぎました。（8面に関連記事があります）

7月3日、高石市内をいく国民平和大行進

「維新PT案」を撤回せよ!!

府庁包囲 7月14日 で 府民の怒りの声

「賃金・退職金削減反対」を掲げる参加者

6月に橋下知事が示した「維新PT案」。6月13日からは府民のパブリックコメントが始まっています。7月7日の中間発表では、1395件が寄せられ、「府民施策切捨て、雇用と賃金を破壊する橋下プログラム案の撤回」「私学助成削減反対」「教員や警察官の人件費削減反対」など府民と職員の思いを反映し、維新案の撤回、見直しを求める声がたくさん寄せられています。「維新PT案」は府民の暮らしを直撃し、教育、福祉、文化を後退させ、行き着くところは政府や財界が描く道州制です。財界奉仕のムダな大型開発は予算を削らず、府民と職員にガマンを押し付け、大阪府を解体しても責任をとる姿勢はまったくありません。

「維新PT案」の府議会での審議が始まった7月1日には2600人の府民が府議会をとりかこみ、その後も、多くの教育、福祉団体などが府庁前で「維新PT案」撤回をもとめて行動しています。

7月14日には、朝から府庁正面玄関前で、労働団体、福祉・障害者団体、教育関係団体、女性団体など、400人の府民が座り込み行動を行いました。また、昼休みには、大阪府職労などの組合員も加わって、約900人が昼休みデモ行進を行いました。「大阪府は福祉と教育をまもれ」「橋下知事は憲法をまもれ、府民の暮らしをまもれ、地方自治を守れ」と、昼休みどきのオフィス街で訴えました。この行動には近畿各地の自治体労働者もたくさん駆けつけ、支援と連帯の激励を行いました。

7月府議会から秋へと、府民のたたかいは熱く続きます。

橋下知事との団体交渉で、要求を掲げる府労組連の組合員

今こそいのちと地域を守る地方自治を ～安かったらええんか！自治体の仕事
「第50回自治体学校」大阪で開催

自治体学校は公務労働者にとっては労働権の確立とともに、住民への奉仕者としての社会的責任をもち、住民との連帯をすすめながら、「憲法をくらしにいかす」立場から学ぶ場として、また、自治体労働者をはじめ、自治体関係者、地方自治研究者、議員、住民など多くの人が集う場として回を重ねてきました。自治体学校はみんなが先生でみんなが生徒です。今年50回目を迎えた自治体学校は、大阪で開催されます。多くの組合員のみなさんの参加を呼びかけます。

○日　時　7月25日(金)～27日(日)
○参加費　一般　1万4000円
○1日目　全体会
　▶日　時　7月25日(金)　午後0時30分～午後5時30分
　▶会　場　吹田市メイシアター
　▶内　容　オープニング　郷土サークル「野火」ほか太鼓サークルのみなさん
　第1部　記念講演　宮本憲一さん
　　(元滋賀大学学長、元自治体問題研究所理事長)
　　「自治体学校の到達点に立って、維持可能な未来社会をつくろう」
　第2部　基調講演　岡田知弘さん
　　(京都大学大学院教授、自治体問題研究所理事長)
　　「激動の世界と日本の地方自治」
　第3部　リレートーク　全国に広がる自治の息吹き
○2日目　講座・分科会
　▶日　時　7月26日(土)　午前9時30分～午後4時30分
　▶内　容　全部で26の講座・分科会、現地分科会があります
○3日目　中規模教室
　▶日　時　7月27日(日)　午前9時30分～午前11時45分
　▶内　容　全部で6つの中規模教室があります

今月のキーワード
夏の甲子園

「夏の甲子園」と言えば、高校野球です。全国高等学校野球選手権大会は、朝日新聞社と日本高等学校野球連盟の主催で、毎年8月に約2週間の日程で兵庫県西宮市の阪神甲子園球場で行われる日本の高校野球大会。5年に1度は記念大会として実施されています。優勝旗の色は深紅で、「深紅の大優勝旗」と呼ばれています。今年は第90回全国高校野球選手権記念大会。代表校は55校。47都道府県に、北海道、埼玉、千葉、東京、神奈川、愛知、大阪、兵庫で2校出場となっています。開会日は8月2日です。

今月のキーワード
米原子力空母
ジョージ・ワシントン

米空母キティ・ホークに代わって、横須賀を母港にしようとする米原子力空母が「ジョージ・ワシントン」です。「ジョージ・ワシントン」はアメリカ海軍のニミッツ級航空母艦の6番艦船。艦名はアメリカの初代大統領の名前をとっています。排水量約10万トン、全長333メートル、幅40メートル。飛行甲板幅76メートル。原子炉2基、建造費約45兆円、乗員は空母要員3200人、航空要員が2480人で計5680人。搭載航空機は85機。8月19日に横須賀に入港する予定でしたが、南米で事故をおこして、予定どおりにすすんでいません。